

バス待合所を地元区が建設
上対馬町舟志



上対馬町舟志の舟志バス停待合所の利用が、1月31日から開始されました。

この待合所は、舟志地区が建設したもので、一部材料は地元企業から無償提供を受け、その他材料については区独自で準備。作業はボランティアで建設されました。以前は、舟志からの始発便バスがあり、通学する児童生徒は、天候の悪いときには始発便バスに乗車し雨風をしのいでいました。しかし、舟志からの始発便が廃止になり、バスで雨風をしのげなくなることから、今回、地区独自で手作り待合所を建設したものです。

この待合所は、木造コロニアル葺、約10平方メートル。地区住民待望の立派なバス停が完成しました。

豊玉町

志賀トンネルが貫通

平成21年2月供用開始



トンネル内部で行われた貫通式

昨年の10月から掘削が進められてきた市道と板系瀬線（豊玉町）の志賀トンネルが貫通し、2月5日現地で貫通式が行われました。

同トンネルは、全長233m、幅員5.5mで事業費は約4億円。平成20年3月に完成予定で、現在の道路を距離にして315m短縮します。

貫通式には、市、工事関係者ら約50人が出席。鏡開きを行ってトンネルの貫通を祝いました。

交通死亡事故「ゼロ」記録1,000日達成!

対馬南地区交通安全協会



市役所玄関前での記念セレモニー

2月26日、対馬南地区交通安全協会は、対馬南警察署管内の交通死亡事故「ゼロ」記録が2月23日をもって1,000日を達成したことを祝い、市役所正面玄関前で記念セレモニーを行いました。

セレモニーには、協会会員をはじめ、対馬南警察署、市役所関係者など約70名が出席。記録の達成を喜び、今後の記録の更新を目指して気持ちを新たにしました。

交通死亡事故「ゼロ」記録1,000日を達成するのは同協会が発足後、32年ぶり2回目で、1回目は昭和50年に達成し、その時は1,369日まで記録を伸ばしました。

セレモニーで同協会の渡邊昭二会長は、「今後も関係機関の支援を得ながら、記録を伸ばしていきたい」と挨拶しました。

その後、国道を豊玉町まで車両パレードを行い、交通安全を呼び掛けました。

高品質の玉がズラリ

真珠入礼会



緊張感ただよう入礼会場

品質の良さで全国的に定評のある対馬産真珠の第1回入礼会が1月27日～29日、対馬真珠養殖漁協（巖原町）で行われ、島内で生産された1級品の真珠332点、80貫710匁（約303kg）が出品されました。

入礼会には、東京、神戸、三重などから24社、約50人の加工業者が参加し、容器に入れられた真珠を手にとったり、ふるいにかけるなどして、形やサイズ、光沢などを真剣な目で品定めしていました。

平井善正組合長は「量としてはすこし少ないが、品質は昨年度以上」と話していました。

厳原小学校5年生の4名
「こどもエコクラブ全国フェスティバル」
に参加します
壁新聞作成で県代表クラブに選抜



参加する4人（後ろが作成した壁新聞）
左から川上奈々さん、春田菜々さん、平山郁奈子さん、
高崎あかりさん

（財）日本環境協会が全国のこどもエコクラブから募集した「壁新聞」で、厳原小学校5年生4名が作成した「エコエコ新聞」が優秀作品に選ばれました。4名は長崎県代表クラブとして3月24、25日に神奈川県で開かれる「全国フェスティバル」に、他の都道府県から選抜された4クラブとともに参加します。

同校では、昨年5月に5年生全員（66名）でこどもエコクラブに加入して、環境に関する学習や活動を行ってきた。

「対馬の海岸をきれいにしよう」をテーマに、夏休みにPTAと協力して行った厳原町尾浦での海岸清掃や漂着ゴミに関する学習に取り組んできた成果をまとめたものです。活動を通して、海岸に発砲スチロールや外国からのゴミが多いことに驚いたというグループリーダー高崎あかりさんは、「全国フェスティバルでは、対馬海岸のごみの現状を知ってもらい、ごみのポイ捨てがなくなるように多くの人に呼び掛けたいです」と抱負を話しました。

第28回 厳原町少年の主張大会



1月28日、第28回厳原町少年の主張大会が、対馬市交流センターイベントホールで開催され、町内の小中学校から児童生徒21人が出場しました。子どもたちは、日頃の学校生活や社会生活での様々な体験を通して得た教訓や、将来の夢、友達との問題などについて子供らしい視点で堂々と自分の意見を発表しました。

久田小学校6年の平間翔太くんは「将来の夢」と題して発表。地元漁師さんと交流する中で、釣った魚が多くの家庭の食卓で食べられること

【審査結果】

（上位のみ・敬称略）
最優秀賞／一宮聡恵（厳原中2年）「唯一のわがまま」
優秀賞／俵愛璃（久田中2年）「学ぶこと」は「手をつなぐ」こと／瀧川桃華（厳原中1年）「本当の強さ」

99歳おめでとうございます



久保田 寅蔵さん
明治41年2月8日生

久保田さんは愛媛県宇和島市出身で、漁業を営まれてきました。現在は、厳原町南室で5つ年下の妻マツエさんと2人暮らしです。

健康づくりのために毎日約1時間の散歩を楽しんでいます。お酒は85歳ぐらいでやめ、肉は食べず、好きな料理は刺身だそうです。



阿比留 春枝さん
明治41年2月12日生

阿比留さんは豊玉町唐洲出身で、平成16年6月から特別養護老人ホームわたづみ（豊玉町仁位）を利用されています。

若いときはゲートボールをよくされていたそうで、現在はみんなと一緒にするラジオ体操が楽しみの一つだそうです。（隣は孫の春儀さん）